

教材配当表

新出語：724 語
 総語数：6,854 語
 総語数 (+OP 含む)：8,301 語
 総語数 (+OP+Skill 含む)：12,151 語



タイトル / 概要 (語数)	配当時間	タイトル / 概要 / 分野 (語数)	配当時間
Skill 1: パラグラフ内の構成 食糧不足の解決 (195)	1		
Skill 2: パラグラフ間の構成 ゴミを楽器にリサイクル (251)	1		
Skill 3: 事実, 意見, 一般論の捉え方 自然を回復する再野生化という方法 (275)	1		
Skill 4: 論理的な文章の構成 サステナブルファッションについて (280)	1		
Skill 5: スキミング, スキャニング 子ども食堂に関する発表 (233)	1		
Skill 6: 順序立てて述べる 視覚, 聴覚, 触覚における錯覚 (171)	1	Lesson 1: Potential Uses of Optical Illusions 科学 (435) 錯視の効果と利用	7
Skill 7: グラフ・表を含む英文 在留外国人の増加を妨げる要因 (167)	1	Lesson 2: Expanding World Population 社会 (517) 人口増加の歴史とそれによって生じる問題	7
Skill 8/9: 言い換え / 要約 SNS で情報を正しく入手するために (269)	1	Lesson 3: What Makes a Hit Song? 科学 (541) ヒットソングになるためには	7
Skill 10: 記録文 日米の友好の象徴となった桜 (197)	1	Lesson 4: Visas for Life 社会 (577) 杉原千畝の功績	7
Skill 11: 結論・結果 渡りをする蝶 (194)	1	Lesson 5: How Have Butterflies Survived? 自然 (569) 蝶はいかにして天敵から身を守ってきたのか	7
Skill 12: 譲歩による論理展開 モン族の裁縫技術と文化 (285)	1	Lesson 6: Mr. Price Meets Jakuchū 文化 (601) 伊藤若沖とジョー・D・プライスの時代を超えた出会い	7
Skill 13: 対比 サステナブルなショッピングモール (250)	1	Lesson 7: Sustainable Lifestyle of the Edo Period 産業 (625) サステナブルな生活を江戸時代の日本から学ぶ	7
Skill 14: 情報の出処 地球温暖化に対する嘘と真実 (228)	1	Lesson 8: Why Do We Lie? 日常 (670) 嘘をつく原因と社会生活における役割	7
Skill 15: 例示 動物福祉という観点 (250)	1	Lesson 9: In Defense of Zoos 自然 (713) 動物園廃止意見に対し, 筆者が動物園を弁護する	7
Skill 16: 情報や説明を加える 水産資源を守る陸上での魚の養殖 (287)	1	Lesson 10: Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna 産業 (750) 絶滅の危機にあるクロマグロの完全養殖	7
Skill 17/18: 理由・根拠 世界種子貯蔵庫 (318)	1	Lesson 11: A Brief History of Humans 文化 (856) なぜ人類は地球の支配者となりえたのか	7
Optional Reading: Three Days to See 聴力, 言葉, そして視力を失ったヘレン・ケラー。光と音の届かない世界で彼女が感じ取ったものとは。		日常 (1447)	3

※総授業数は、週3時間、年間31週として計算しました。
 Skill の内容 (語数) は長文問題のみ掲載しています。
 (Optional Reading は弾力的な運用としています。)

レッスン紹介



Lesson 1: Potential Uses of Optical Illusions

錯視は建物の設計や案内標示に活用され、空間を広く見せ、時に人々の行動を導く。その効果の制限を踏まえて工夫すれば、さらに新たな価値や有用性を生み出せるだろう。



Lesson 2: Expanding World Population

農業と産業、そして医療の発展により、世界人口は急増した。今なお増加が続く中で、資源不足や環境問題が深刻化しており、持続可能な対策の確立が今後の課題となっている。



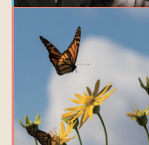
Lesson 3: What Makes a Hit Song?

ヒット曲の決め手は「質」か「他人の評価」か、ある実験によってその答えが得られた。娯楽の多様化と共有の楽しさ、さらにはインターネットの発展が、私たちの選択を大きく左右している。



Lesson 4: Visas for Life

杉原千畝はナチスから逃れるユダヤ人にビザを発行し続け、多くの命を救った。良心に従った勇気ある決断は、後に世界的に称えられることとなる。



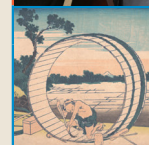
Lesson 5: How Have Butterflies Survived?

蝶は一見無防備に見えるが、ひらひらと不規則な飛行で天敵をかかわす。羽の構造や機能、そしてその色に隠された生存戦略を紐解いていく。



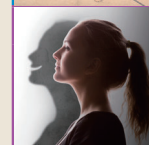
Lesson 6: Mr. Price Meets Jakuchū

長く埋もれていた伊藤若沖の才能は、収集家プライスの審美眼により発見された。国境を越えた出会いが名声を高め、珠玉の作品を現代に伝えている。



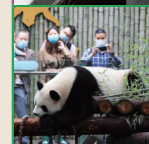
Lesson 7: Sustainable Lifestyle of the Edo Period

江戸時代の人々は廃棄物を肥料に再利用し、古着や道具も修理して使い続ける循環型社会を築いた。その知恵は現代の環境問題を考える上で、大切なヒントを与えている。



Lesson 8: Why Do We Lie?

人間は嘘をつく生き物だ。無害な嘘もあるが多くは有害である。会話分析や関係性に着目した実験から、嘘をつくことの社会的役割が見えてきた。



Lesson 9: In Defense of Zoos

動物園は動物の自由を奪うと批判される一方、近年は進歩し、絶滅危惧種の保護や研究、環境教育に貢献している。倫理的課題と活動の意義を慎重に鑑みる必要があるだろう。



Lesson 10: Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna

需要増大で絶滅が危惧されるクロマグロを守るため、近畿大学は完全養殖に挑み成功を収めた。資源保護にはこの持続可能な取り組みをさらに広げることが課題である。



Lesson 11: A Brief History of Humans

7万年前、地球上で取るに足らぬ存在だった人類は、今やこの世界を支配している。その鍵は想像力にあり、宗教や国家、貨幣といった虚構を共有することが柔軟な協力を可能にする。